

4 a を実数とする。座標平面において、次の連立不等式の表す領域の面積を $S(a)$ とする。

$$\begin{cases} y \leq -\frac{1}{2}x^2 + 2 \\ y \geq |x^2 + a| \\ -1 \leq x \leq 1 \end{cases}$$

a が $-2 \leq a < 2$ の範囲を動くとき、 $S(a)$ の最大値を求めよ。

(25 東大・文科)

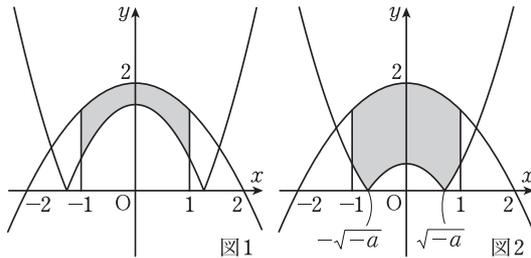
4 **数学II**【面積】**標準**
《面倒ではある (B20)》

▶解答 まず、 $y = -(x^2 + a)$ と $y = -\frac{1}{2}x^2 + 2$ の大小を調べよう。 $-2 \leq a < 2$ においては

$$-\frac{1}{2}x^2 + 2 - \{-(x^2 + a)\} = \frac{x^2}{2} + a + 2 \geq 0$$

であるから、折り返した $y = -(x^2 + a)$ が $y = -\frac{1}{2}x^2 + 2$ より上側に来ることはない。

- $-2 \leq a \leq -1$ のとき：図1 のようになる。
 $-1 \leq x \leq 1$ においては常に $|x^2 + a| = -(x^2 + a)$ である。 a が大きくなると $y = -(x^2 + a)$ は下に下がるから、 $S(a)$ は増加する。



- $-1 \leq a \leq 0$ のとき：図2 のようになる。

$$\begin{aligned} \frac{S(a)}{2} &= \int_0^1 \left(-\frac{1}{2}x^2 + 2\right) dx \\ &\quad - \int_0^{\sqrt{-a}} \{-(x^2 + a)\} dx - \int_{\sqrt{-a}}^1 (x^2 + a) dx \\ &= \left[-\frac{x^3}{6} + 2x\right]_0^1 - \left[-\frac{x^3}{3} - ax\right]_0^{\sqrt{-a}} \\ &\quad - \left[\frac{x^3}{3} + ax\right]_{\sqrt{-a}}^1 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \frac{11}{6} + 2\left(\frac{-a\sqrt{-a}}{3} + a\sqrt{-a}\right) - \left(\frac{1}{3} + a\right) \\ &= \frac{4}{3}a\sqrt{-a} - a + \frac{3}{2} \end{aligned}$$

ここで、 $t = \sqrt{-a}$ とおくと t のとりうる値の範囲は $0 \leq t \leq 1$ であり、 $t^2 = -a$ も合わせると

$$\begin{aligned} \frac{S(a)}{2} &= -\frac{4}{3}t^3 + t^2 + \frac{3}{2} \\ f(t) &= -\frac{4}{3}t^3 + t^2 + \frac{3}{2} \text{ とおくと,} \end{aligned}$$

$$f'(t) = -4t^2 + 2t = 2t(-2t + 1)$$

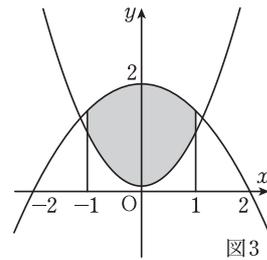
| | | | | |
|---------|---|-----|---------------|-----|
| t | 0 | ... | $\frac{1}{2}$ | ... |
| $f'(t)$ | | + | | - |
| $f(t)$ | | ↗ | | ↘ |

これより、 $-1 \leq a \leq 0$ における $S(a)$ の最大値は

$$2f\left(\frac{1}{2}\right) = -\frac{1}{3} + \frac{1}{2} + 3 = \frac{19}{6}$$

である。

- $0 \leq a < 2$ のとき：図3 のようになる。 $-1 \leq x \leq 1$ においては常に $|x^2 + a| = x^2 + a$ である。 a が大きくなると $y = x^2 + a$ は上に上がるから、 $S(a)$ は減少する。



よって、 $S(a)$ の最大値は $\frac{19}{6}$ である。